

視聴覚教育

NO. 247
 発行日 10. 11. 2
 発行 岡崎市AVL
 編集 現職教育委員会
 視聴覚部

中学校パソコン更新

教育委員会指導主事 山田 賛平

平成十年十月、市内全中学校パソコン教室の機器更新がなされた。今までのFMタウンズ21台（一校FM R50）からウィンドウズ95対応のFMV41台とウィンドウズNT対応1台の計42台へと、その装備が一気に拡充されたのである。18校で75台という規模の更新事業は、単年度では全国的にも最大級のものである。市当局のご決断に改めて感謝したい。

この更新されたパソコン教室の大きな特長には次のことがあげられる。

- ・生徒用パソコン40台（一人一台）
- ・液晶ディスプレイによる省スペース化
- ・NTサーバーによる教室内LAN

42台設置では教室が機械だらけになりはしないかと心配されたが、奥行き10センチ程度の液晶ディスプレイは従来のブラウン管に比べ、大きな空間を生徒に与えることになった。電磁波や紫外線などの影響も最小限だと言われている。

視聴覚用語
 「インタラクティブ」
 「対話的」という意味。一方的に操作したり、きまつた情報を受け取るのではなく、こちらの操作に対して相手が対応した情報を送ってくるような、「双方向」のやり取りをさす。



また、NTサーバーを置いて教室内ネットワークの環境を整えたことが、利用の可能性を大きく広げるものと考えられている。

ハード環境とともにソフトの拡充についても整備が進められた。今までの情報教育の実態調査において、岡崎市ではソフトの充実が全国のそれに対して顕著であったが、今回も十分に配慮されている。

ハード・ソフトともにすばらしい環境の基盤が整った。あえて基盤と言うのは、この環境は情報が蓄積され、利用の目的に応じてさまざまに設定がなされていくことで、より価値のあるものに変わっていくからである。各中学校においては、積極的に利用を進め、創意・工夫に満ちた活用がなされることを期待している。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ

パソコン研修行われる

十月十三日（火）、矢作中学校パソコン室において第二回視聴覚主任者会が行われた。各部会の報告の後、城北中学校の森竜師先生を講師に、パソコン研修が行われた。デジタルカメラの画像の取り込み方やスキャナーの使い方についての講義を聞いた後、中学校に新しく導入されたパソコン（教師用1台、サーバー1台、生徒用40台）を使用し、プレゼンテーションソフトの利用について実習を行った。

マイクrosoft社の「パワーポイント」を使って、次のような内容で講習が進められた。

- ①ソフトを起動する方法
- ②スライドを準備する方法
- ③文字入力の方法と文字色の決め方
- ④背景のデザイン選択とつけ方
- ⑤スライド画面の切り替え方
- ⑥各部品の登場のさせ方

はじめはおそろおそろの実習を行っていた人も講習が進むにつれ熱心にスライドの作成に取り組んでいた。

なお、このプレゼンテーションソフトは、ほとんどの小中学校に配布されている。ぜひ、授業や校内の研究などにも活用してもらいたい。



子供たちの手による

ビデオ番組作り

美合小学校 福岡 吾隆

まず本校の紹介をさせていただく。本校では、昭和五十二年よりゲンジボタルの保護活動に取り組んでいる。ホタル部の子供たちが中心となり、採卵から幼虫の飼育・放流などの活動を継続している。八月の県野生生物保護実績発表会では二十年にわたる活動の様子を紹介した。『ゲンジボタルが光ったよ』（学研）にも、この活動が紹介されているので、ぜひご一読いただきたい。

次に、本校の視聴覚教育活動の一端を紹介する。私は、一学期より授業風景をビデオ撮影し、体験作文の発表に利用したり、体育のマット運動で自己評価をするときの資料として活用してきた。二学期に入り、ビデオ撮影を子供たちに任せてみようと思ひ、ビデオ機器に強い関心を示した子供たちに、「自分たちでビデオ番組を作ろう」と呼びかけた。

四年生社会科単元「低地の人々のくらし」での社会見学で撮影をすることにした。当日



の子供たちの意気込みはすばらしく、弁当やおやつを食べる時間を節約してまで、熱心に撮影に取り組んだ。撮影した映像を編集し、グループ発表に利用した。撮影した映像は、決して上手とはいえない。しかし、自分たちでビデオ番組を作り、メッセージを伝える活動をした結果、取り組み方が積極的なものになった。

今後は、本校のホタル保護活動を子供の手でビデオ番組としてもまとめていきたい。

II レッツ・トライ II

気に入った画面を保存する

パソコンの使い方の説明プリントや授業の記録ノートを作るとき、ディスプレイに表示されている画面をワープロなどに貼り付けたり、画面をファイルに保存すると便利です。まず、パソコンの画面を保存したい状態にします。次にキーボード右の「Print Screen」キー（PC-98では「Copy」キー）を押します。次に、「Microsoft Word」や「一太郎」などを立ち上げ、編集メニューから「貼り付け」を選ぶと、先ほどの画面が文書中に表示されます。また「ペイント」などの画像処理ソフトを立ち上げ、同様の手順で画面を貼り付けたあと、「ファイル」から「保存」を選択すると画面のデータをハードディスクやフロッピーディスクに保存することができます。

（情報教育主任会広報部）

ライブライリーだより

☆MICS（ミクス）教育チャンネルの校内利用について

ケーブルテレビMICS（ミクス）では、現在、教育チャンネルを設け、視聴覚ライブライリーと協力しながら、月曜日から金曜日まで毎日六作品ほどの番組を放送しています。ミクスが導入されている学校では、校内放送を通じて各教室で番組を視聴することができます。ぜひ、授業でもご利用ください。教室では、次のようにして番組を見ることができます。

- ① 放送室のテレビチューナーをケーブルテレビ（ミクス）に切り替える。
- ② ミクスのチューナー電源を入れ、23チャンネルに合わせる。
- ③ 調整卓の映像電源を入れ、「プログラム選択」を「モニター」か「モニター2」に合わせる。
- ④ 「テレビ送り出し」ボタンを押せば、校内放送と同じチャンネルで、番組を視聴することができます。

学校によっては、放送機器が異なりますので、必ずしもこのとおりではありません。詳しくは、各学校の視聴覚主任にお聞きください。

放送開始時刻

- 第一回 午前八時三十分
- 第二回 午前十一時
- 第三回 午後三時

となっております。